

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

アンケート実施期間:2024年12月
結果公表日:2025年3月27日

回答率

事業所職員: 4名回答、回答率 100%
保護者様: 18名回答、回答率 86%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・職員の有給、送迎時間の都合上、一時的に人員配置に課題が生じる場合には、送迎便の変更や近隣教室との調整を行い、安全が確保されるよう努めている。
- ・教室内では場所ごとにスペースで区切り、決まりをイラストと文字を用いて説明している。トイレや事務室前には足形マークを貼り、立ち位置が分かりやすいよう工夫を行っている。

○業務改善

- ・日々の業務前ミーティングにて安全面、支援面の課題点と解決策について共有する時間を設けている。
- ・組織人研修、虐待防止研修、感染症対策研修等研修が設けられており、該当職員が参加し、資質向上に努めている。

○適切な支援の提供

- ・児童発達管理責任者が面談を実施し、作成した個別支援計画をもとに日々計画に沿った療育を行い、記録に残している。
- ・集団療育は毎月異なるテーマで5領域に応じて実施している。療育プログラムの曜日や内容などが固定化しないよう、過去の療育を振り返りながら職員全員で分担を行っている。

○関係機関や保護者との連携

- ・地域で開催されているアート展への出展等、地域イベントへの参画を通して交流を図っている。
- ・必要に応じて学校、他事業所と連携を行い支援の統一化を図っている。

○保護者への説明責任等

- ・今年度は報酬改定があったが、変更点については職員間で情報共有を行い、保護者へお便りの配布と同時に口頭での説明を行っている。
- ・保護者会、療育参観の機会を設け、事業所での取り組みや様子をお伝えしている。

○非常時等の対応

- ・契約時に食物アレルギー有無、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認し、職員間で共有の徹底を図っている。
- ・非常時の対応について各種マニュアルを作成し、発生を想定した訓練を定期的に行っている。避難訓練に関しては月1回、集団療育の中で子どもと一緒に実施をしている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっていると思いますか、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますかの質問には9割以上の方から「はい」と回答していただく事ができた。
- ・「変えようがないですが、始めて行ったときに階段が少し怖いなと思いました」とのご意見もいただきました。

○適切な支援の提供

- ・子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますかの質問には全ての方から「はい」と回答していただくことができた。
- ・放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会の有無については、「いいえ」の回答が多く寄せられた。「他で交流しているのでデイでは求めません」とのご意見もいただきました。

○保護者への説明等

- ・事業所を利用する際の運営規程、支援プログラム、利用者負担についての丁寧な説明、放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の説明に関して、全ての方からよい評価をいただく事ができた。

○非常時等の対応

- ・事故等が発生した際の連絡、説明に関しては「どちらともいえない」「分からない」との回答もみられた。事故等が発生していないこともあると考えられるが、非常時の対応、連絡方法について再度、周知や説明を行っていくようにしていきたい。

○満足度

- ・子どもは安心感を持って通所していますか、事業所の支援に満足していますかの質問には9割以上の方から「はい」と回答していただくことができた。
- ・「初めての通所ですが行くのを嫌がらずとても楽しみにしています」とのご意見もいただきました。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・保護者会を年に2回開催しご案内をする際には、紙面だけでなく口頭でも説明させていただく。
- ・毎日のミーティングで児童の様子や日々の活動の情報共有を行い、ブログにて月1回発信できるように取り組む。
- ・入退室時の段差や階段に職員を必ず配置する、教室内の危険箇所や時間帯等を全職員が共通認識として把握できるよう安全面の資質の向上に取り組んでいく。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・年2回保護者会を実施予定であるが、下半期のご案内が遅くなってしまったため、早めに日程調整を行い保護者会を実施することを事前にお伝えするようにする。
- ・毎日のミーティングで情報共有を行うことはできたが、ブログの更新は不定期となってしまった。業務調整を行い、月1回以上はブログで療育の様子を発信できるようにしていきたい。
- ・危険箇所を見定め、安全管理は職員全員で意識を高めることができ、大きな事故、怪我なく過ごすことができた。引き続き安心してご利用していただける環境設定に取り組んでいく。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・児童発達管理責任者が個別支援計画を作成し、全職員が計画に沿って個別課題と集団療育を組み合わせながらニーズに沿った支援を行うことができている。
- ・非常時等の対応について各種マニュアルの作成、月1回の避難訓練を実施していることを昨年度、保護者会等で周知することができアンケートでも良い評価をいただくことができた。

○改善点

- ・教室の構造上、階段、段差等安全面への懸念点が見られる。引き続き、職員間で危険個所について共有を行い、継続した安全管理を行っていく。
- ・保護者会に関してより多くの方に参加していただけるよう早めに周知を行い様子をブログ等でも発信するようにする。
- ・家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会や情報提供の機会をより多く発信できるようにする。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・継続して年2回保護者会の開催を行う。
- ・ブログにて事業所での様子について定期的に配信を行う。
- ・家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会や情報提供の機会を発信していく。
- ・継続した安全管理の徹底に努めていく。

○1年間で取り組む具体策

- ・保護者会に関して早めのご案内を行う。新規ご利用の方にも保護者会や療育参観の機会を設けていることをお伝えするようにする。
- ・ブログ担当の職員を決め作成時間の確保を行い、月1件以上は日々の療育の様子をブログにて発信できるようにする。
- ・家族等も参加できる研修会に関して、スマート内だけでなく自治体や関係機関が行っている研修等もお便りを配布、案内を行い情報提供を行っていく。
- ・教室内でもより質の高い家族支援を行っていただけるよう日々のミーティング、心理士相談、研修等を通して職員の資質の向上を図る。
- ・日々のミーティングにて送迎、安全面についての共有を行い、怪我や事故に繋がる恐れのある事象が発生した際にはヒヤリハットの作成を行う。